次期「道央地域政策展開方針」の策定経過等について

1. これまでの経過

- 令和6年5～8月 各地域において、地域づくり連携会議の場で次期方針について議論
 11月 次期「連携地域別政策展開方針」（素案）取りまとめ
 11月 道議会第4回定例会において素案を報告
 11～12月 道民意見等の募集

2. 素案に係る道民意見等の募集（パブリックコメント）の結果

(1) パブリックコメントの実施期間

- ・令和6年11月26日～12月25日

※併せて、北海道創生総合戦略の「地域戦略」として北海道創生協議会構成員(産学官等の関係団体)へ意見照会

(2) 主な意見と道の考え方

頁	意見の概要	意見に対する道の考え方
	札幌や小樽はインバウンドが多すぎると感じる時があるため、観光客数を制限してほしい。 道央地域の範囲が広すぎると思う。	札幌市や小樽市のインバウンド客については、昨今の円安なども背景に、年々増加傾向にあります。 道央広域連携地域は、高齢者や子ども、外国人など地域住民が安全安心に生活できるよう地域公共交通の維持確保や多文化共生の推進など持続可能なまちづくりを推進してまいりますので、いただいたご意見に関しては、今後の施策の参考とさせていただきます。 また、道央広域連携地域は、行政をはじめ経済、医療、教育、文化などの面で札幌市と結び付きが強い地域をエリアとして設定しています。
75	「主なKPI」で漁業生産額を挙げているが適切か。 漁獲量の減少（水産資源の枯渇）がある中で資源回復をどうするかも重要な問題。目標として生産額を取り上げるのであれば、ICT等を活かして行う養殖・栽培漁業（例：ホタテの養殖×画像診断技術）などに絞って行う方が良いという事も考えられる。	地域産業の振興プロジェクトにおいて、 <u>ICTの活用をはじめとして、資源管理の推進や新たな養殖業の事業化などを主な取組方向としており、その効果も測る総合的なKPIとして「漁業生産額」を設定しているところ</u> です。 引き続き、KPIの達成に向けICT等の活用や資源管理、新たな養殖業などの推進に取り組んでまいります。

3. 今後の予定

- 令和7年2月 道議会第1回定例会において原案を報告
 3月 次期方針の決定